

3つの政策の柱と 瀬戸内クロスポイント構想により 今治の未来に新しい風を

これから私たちが直面する課題は、人口減少や少子高齢化、日本経済のダウンサイジング、ウィズコロナ・アフターコロナ時代の潮流による社会構造の転換など、幅広く、かつ深刻なものばかりです。

しかしながら、市民の皆さまが愛する今治の未来が、「持続可能な経済循環するまち」として発展し続けるよう、3つの政策と瀬戸内クロスポイント構想を柱とし、これらの問題解決に向け挑戦し続けてまいります。

また、市民を守るという視点から最重要課題と捉えている新型コロナウイルス感染症対策に関しては、引き続き、国や県、今治市医師会など関係機関と緊密に連携を図りながら、感染拡大防止に全力で取り組みます。ワクチン接種についても実施体制を整え、迅速かつ円滑に準備を進めてまいります。

瀬戸内クロスポイント構想

ウィズコロナの時代への対応とアフターコロナの時代への準備、今はこの2つを同時に考えなければならないときであり、デジタル化をフル活用し、今まさに、市民の力を結集して発展に向け挑戦するときなのです。

「瀬戸内クロスポイント構想」は、そのための設計図であります。

今治市が瀬戸内海の“へそ”に位置する立地条件を生かし、資金、消費、投資の流出を流入に変え、地域で所得が循環することを目指す構想です。

国の分析手法を活用し、生産や分配、支出での資金の流れを「見える化」することで、地域経済の長所と短所を客観的に分析し、実効性の高い政策を立案・展開していきます。

流出から流入へ

